

様式第1 (第3条関係)

託送収支計算書

事業者名 大網白里市

令和 2年4月 1日から
令和 3年3月31日まで

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	231,363	営業収益	246,946
供給販売費	231,363	託送供給収益	0
労務費	67,035	自社託送収益	246,946
諸経費	85,299	事業者間精算収益	0
修繕費	29,738	最終保障供給収益	0
消耗品費	7,319	その他託送供給関連収益	0
賃借料	5,255	(補償料等収入)	0
租税課金	44	(償却分区域外工事負担金収入)	0
固定資産除却費	584		
需給調整費	0		
バイオガス調達費	0		
需要調査・開拓費	0		
事業者間精算費	0		
その他経費	42,359		
減価償却費	79,029		
一般管理費	0		
人事関連	0		
土地建物関連	0		
宣伝・広告関連	0		
システム関連	0		
基礎的研究関連	0		
一般管理	0		
事業税	0		
託送供給特定費用	0		
最終保障供給費用	0		
営業利益	15,583		
営業外費用	785	営業外収益	1,648
資金調達	637	資金運用	0
雑支出等	0	雑収入	1,519
その他	148	その他	129
特別損失	0	特別利益	0
税引前託送供給関連部門当期純利益(又は税引前託送供給関連部門当期純損失)	16,446		
法人税等	0		
託送供給関連部門当期純利益(又は託送供給関連部門当期純損失)	16,446		

(託送収益明細表)

(単位:千m3、千円、円/m3)

	託送供給量	託送収益	単価
託送供給収益	0	0	—
自社託送収益	7,391	246,946	33.41
事業者間精算収益	0	0	—
最終保障供給収益	—	0	—
その他託送供給関連収益	—	0	—
託送収益合計	7,391	246,946	33.41

様式第2(第4条関係)

託送資産明細書

事業者名 大網白里市

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

(単位:千円)

項 目	金 額
建設仮勘定	3,487
設備勘定(有形)	773,408
無形固定資産	51,867
長期前払費用	51
運転資本	18,969
繰延資産	0
託送資産合計	847,782

建設仮勘定、設備勘定(有形)、無形固定資産、長期前払費用及び繰延資産の算定方法については、期首期末平均を採用。

(一般ガス導管事業者:本支管投資額実績表)

(単位:千円)

項目	直近実績					5年平均額
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
主要導管						
本支管(主要導管以外)	80,080	75,585	98,727	76,964	68,376	79,946
計	80,080	75,585	98,727	76,964	68,376	79,946

様式第3（第5条関係）
第1表

超過利潤計算書

事業者名 大網白里市

令和 2年 4月 1日から
令和 3年 3月31日まで

(単位：千円)

項 目	金 額
税引前託送供給関連部門当期純利益 (又は税引前託送供給関連部門当期純損失) (①)	16,446
託送供給関連部門の営業外費用(その他に限る。) (②)	148
託送供給関連部門の営業外収益(雑収入を除く。) (③)	129
託送供給関連部門の特別損益 (④)	0
その他調整額 (⑤=⑥+⑦)	0
補償料等収入 (⑥)	0
最終保障供給取引損益 (⑦)	0
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益 (又は調整後税引前託送供給関連部門当期純損失) (⑧=①+②-③-④-⑤)	16,465
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益に係る法人税等 (⑨)	0
調整後託送供給関連部門当期純利益 (又は調整後託送供給関連部門当期純損失) (⑩=⑧-⑨)	16,465
託送供給関連部門事業報酬額 (⑪)	18,513
減少事業報酬額 (⑫)	0
託送供給関連部門の営業外費用 (資金調達に限る。) (⑬)	637
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (⑭=⑩-⑪+⑫+⑬)	-1,411
うち想定原価と実績費用との乖離額	-2,829

第2表

超過利潤累積額管理表

事業者名 大網白里市

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

(単位：千円)

項目	金額	備考
前期超過利潤累積額(又は前期欠損累積額) (①) (うち前期乖離額累積額) (⑦)	-20,293 (-12,088)	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②) (うち想定原価と実績費用との乖離額) (⑧)	-1,411 (-2,829)	
還元額 (③)	0	
当期超過利潤累積額(又は当期欠損累積額) (④=①+②-③) (うち当期乖離額累積額) (⑨=⑦+⑧)	-21,704 (-14,917)	
一定水準額 (⑤)	79,946	
一定水準超過額 (⑥=④-⑤)	0	

一定水準額は、託送供給関連設備投資額のうち、本支管投資額の過去5ヵ年平均の値を適用

第3表

導管投資額明細表（一般ガス導管事業者）

事業者名 大網白里市

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

（単位：千円）

項目	当期投資額	備考
高圧導管	0	
中圧導管	0	
計	0	

第4表

内部留保相当額管理表

事業者名 大網白里市

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

(単位：千円)

項目	金額	備考
前期末内部留保相当額 (①)	-47,256	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②)	-1,411	
還元額 (③)	0	
当期導管投資額(又は当期特定導管投資額) (④)	0	
当期内部留保相当額 (⑤=①+②-③-④)	-48,667	還元義務額残高：0

第5表

乖離率計算書

事業者名 大網白里市

項目	値	備考
想定原価（千円）（①）	736,584	
想定需要量（千m ³ ）（②）	22,325	
想定単価（円/m ³ ）（③=①/②）	33	
実績費用（千円）（④）	736,576	
実績需要量（千m ³ ）（⑤）	21,513	
実績単価（円/m ³ ）（⑥=④/⑤）	34	
乖離率（%）（⑥/③-1）×100	3	

想定原価及び想定需要量は、平成29年4月から令和2年3月までの3年の合計とした。

実績費用及び実績需要量は、平成30年4月から令和3年3月までの3年の合計とした。